



# 自治連だより

第19号



## 再任のご挨拶

鳥取市自治連合会  
会長 渡邊勘治郎



皆様には、平素より鳥取市自治連合会の諸活動にご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。先の定期総会で本会会長に再任されました。初心を忘れず誠心誠意つくす所存です。皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願いたします。

国の地方創生元年予算の配分は早々と終わり、鳥取県は、地方創生の先陣を切るとして数々の先行的施策をスタートされ、本市でも、企業誘致・子育て支援・市街地等の起業支援等、街中に賑わいを取り戻し、若者の流出を止める施策にいち早く取組まれるなど心強く思っています。

これにより、全県的には人口減少に一定の歯止めが掛かるものの、小規模且つ兼業農家が多数を占める中山間地域においては、現地に住む者にしか解らない課題も多く、併せて若者等の市街地流出などの課題が山積し、同様に、市街地地域においても課題が多々あると思います。

その解決のためにも、地方創生予算を生かし、地域自治会やまちづくり協議会が中心となって、若者等の魅力ある地域づくりを推進していただきたいと思えます。本市自治連も情報交換会等を随時行い、その活動に寄与できればと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

## 平成二十七年年度

### 定期総会

平成二十七年五月十五日、とりぎん文化会館小ホールにおいて、各地区より選出された百三十一名の代議員が出席し、鳥取市自治連合会定期総会を開催しました。総会に先立ち、講演会では「鳥取発！地方創生」と題し、鳥取県未来づくり推進局長岡崎隆司氏が、将来世代の活躍・定住、交流人口の拡大に向けて四つの鳥取元気プロジェクトを柱に鳥取の強みを活かした具体的な施策例等を講演されました。



27年度 鳥取市自治連合会定期総会

総会では、渡邊会長が挨拶を述べた後、永年にわたり町内会活動に功績のあった四十名の方々に対し、感謝状と記念品が贈呈され、深澤義彦鳥取市長、田村鳥取市議会副議長から祝辞をいただいた後、被表彰者を代表して千代水地区前会長岩崎道夫氏から謝辞が述べられました。続いて、市政概要では企画推進部田中部長より「鳥取市発展に向けた取組み」について説明を受けた後、末恒地区



講演会

山西地区綾木会長を議長団に選出し、次の総会議案が承認されました。

- ・平成二十六年度事業報告並びに収支決算報告
- ・結成四十周年記念事業報告並びに収支決算報告、監査報告
- ・平成二十七年事業計画(案)並びに収支予算(案)
- ・平成二十七年新役員承認

監事	監事	監事	副会長	副会長	副会長	副会長	副会長	会長	新役員
土橋周美	下澤理如	岡田一壽	大西隆秀	村上誘子	竹森貞美	村山洋一	南部敏	渡邊勘治郎	

### 修立地区

## まちづくり協議会の活動に暖かい愛情を：

修立地区まちづくり協議会

会長 岡田一壽

平成二十三年三月 地区内の十五団体をまとめて協議会を発足させたが、当初は「住民の意識はマンネリ化しており、変化を求めていない」と言う雰囲気が強く感じられた。しかし最近はずいぶん日常生活の言動に変化が感じられるようになり嬉しく感じている。

数年の活動を通して思うことは、体育会など団体の自主事業が着実に推進される団体の力量の差が、まちづくりを推進する上で基盤として大きく全体の動きや成果を左右するものだ、と強く感じている。

協議会の主要事業として、隔年で文化祭と運動会を開催しているが、今年五月三十日（日）に第三回目の地区大運動会を小学校と共催で開催した。

過去の反省や課題を昨年の十二月から実行委員会で確認し合い「より地域の運動会として多くの人に愛され親しまれる」をテーマとして、組織と人の配置、各組織間の連携、予算の配分、プログラムの構成と配置、キレの良い集合解散の在り方、等について実行委員会で練り上げた。

運動会で、新鮮な中学一年生を役員として、早い、高い、美しさを競うの

ではなく、楽しい笑顔の中に、暖かさ、世代を越えた交流の輪の広がりがつつあるのを感じることで嬉しく思っている。

しかし反省点もある。校地内での喫煙は許されない。喫煙場を何処に確保するか。救護に万全を期すための手立では、ゴミのない運動会としての意識の高揚策は、中・高生に参加してもらうための手立では……

今年三回目ということで運営も呼吸が合い、天候にも恵まれ多くの人の参加を得て初期の目的を達成することが出来たと感じているが、やはり集団を一つの方向にまとめるには、刺激とシグナルが必要である。「見えるもの、聞こえるものから、さらに暖かく住民の心に響く呼びかけ」をより大切にする必要があると強く感じているこの頃である。



修立地区 第3回大運動会



### 賀露地区

## 美しい海づくりは源流から

次世代に残そう豊かな郷土  
賀露町自治会

会長 深澤修一

環境学習の中から、豊かな森が豊かな海を育むことを知り、平成十二年、賀露町婦人会が中心となって千代川水系の水源域である若桜町の氷ノ山に約百五十本のブナ、ミズナラを植樹し、「賀露みなど二十一世紀の森」を誕生させました。これを契機に平成十五年には、自治会が鳥取市の「森づくり市民活動支援事業」を受け、町民に呼びかけて前記「二十一世紀の森」に、更にミズナラ約六百七十本を植え、水源の再生を図る一助としました。以後、毎年、賀露町全体の行事として、自治会、公民館、婦人会、一般町民による「下草刈り」を行っていますが、これには賀露小学校の四年生とその父兄が参加する「森林教室」も組み込まれ、環境学習の効果を上げています。

「二十一世紀の森」は植樹から十年以上経ち、「下草刈り」の必要性はなくなつたため、今年から場所を代えて「安蔵森林公園」において草刈りなど森林保全活動を行うこととしております。

また、海水浴場ともなっている賀露

海岸の海岸清掃は昭和三十年代より続けられており、当初は町の環境衛生部が、平成十年からは公民館ボランティアも加わり、町民あげて取り組んでいます。

このような取り組みに対し、各方面から各種の受賞をいただいております、今後とも「源流から河口まで」をキーワードに環境保全活動に取り組んでいきたいと考えています。

（平成十三年～二十年）国土交通省表彰、鳥取県知事表彰、林野庁長官賞、国土交通大臣賞、緑綬褒章



賀露みなど21世紀の森

中ノ郷地区

まちづくりは  
人づくりから

中ノ郷地区自治会  
会長 下澤理如

中ノ郷地区は摩尼山、本陣山、久松山、雁金山に囲まれています。摩尼寺のある覚寺、吉川経家の墓所のある円護寺、そして三十年前から開発されてきた山城町、北園一丁目、二丁目、北園団地、覚寺口、円護寺団地と拡大し、現在八つの町内会から構成されています。千四百世帯四千人が登録され、生活しています。

二十年前に中ノ郷小学校が設立されたと同時に自治会を始めとする各種団体が設立されました。現在では小学校、公民館、地区体育館が地域の中心に配置されています。

設立当初から小学校と地域の結びつきが強く、現在もその姿勢が受けつがれています。

例えば環境美化活動では地域住民が児童や先生方と学



環境美化活動

校の樹木の剪定、除草を年三回行い、見通しの良い、風通しの良い学校環境づくりをします。しゃんしゃん祭りの傘おどりには小学校六年生と中学生、高校生や大人八十名で構成する中ノ郷連として参加します。そしてPTA、地子連、自治会など百名が連のサポートをします。このほかにも小学校と合同の運動会、中学生自身が考えて店を出す納涼祭、子ども達もお祝いする敬老会、中ノ郷まつりにも沢山の子も達が参加しています。



しゃんしゃん中ノ郷連

将来の中ノ郷を背負ってくれる人づくりには、地域の宝である子ども達を中心に各団体が連携して子どもの為に活動すること。その活動する人々の一生懸命な後ろ姿を見せる事が肝要です。これからは元気な地区であることを願って、防災と健康推進の基盤づくりにも軸足を移します。

## 平成27年度 先進地研修視察の概要

平成27年度自治連合会先進地研修視察は、「山口市協働推進プラン」を策定された山口市を選び、更に全市21地域の中でも特に先進的な「佐山地区」を選定し、去る6月18日「佐山交流センター」を訪問した。研修は午後2時30分より開催、和やかな雰囲気の中佐山地区自治連合会中村浩美会長より歓迎の挨拶を受け、鳥取市自治連合会渡邊勤治郎会長よりご当地訪問の挨拶で始まった。以下は上野事務局長の説明を参考に報告します。

同地区は山口市南西部に位置し、田畑の多い田園地帯だが交通の便も良いことから、2つの工業地帯が存在する。人口2,840人、世帯数1,149戸、高齢化率33.6%。自治組織は佐山地区自治連合会、同地区地域づくり協議会にて運営。大きな意味で地域住民の生活向上を目指す目的が一緒なので、一体化して取り組んでいる。但し会計は各々独立して執行している。5つの専門部会にて立案、全体で協議、実施している。

同地区の最近の重点推進事業は、自主防災組織の充実。昭和17年周防灘台風で多くの人命が失われた歴史があり、平成20年佐山地区自主防災会発足以来活発に活動しており、現在では山口県の自主防災活動優良事例として取り上げられ、県内外から視察も多く受け入れている。更に事業として「山口一の環境美化」を目指



しての花壇作りと「ごみゼロ」の環境整備に取り組んでいる。

財務面では自主財源と合わせて市より「税収の1%相当額」の公的財政支援があり、地域づくり交付金として使用。使用用途制限あり、両組織の会計は優先順位を決め効果的運用に努めている。同センターは公民館業務の他、市職員の出向もあり行政機能も持っている。

山口市の協働のまちづくり支援体制は、視察に参加した全員が大変参考になった様子だった。

佐山交流センターの皆様のお見送りのもと、私たちが「感謝の心」でお礼を申し辞した。

(文責 山岡昭男)

**豊実地区**

緑ゆたかで魅力ある  
住みよいまち 豊実

豊実地区まちづくり協議会

会長 川西謙一

豊実地区は、鳥取市の南西部に位置し、千代川水系野坂川の中流域に広がる、七つの集落からなる緑ゆたかな純農村地帯です。

豊実地区まちづくり協議会には、五つの専門部会があり、それぞれの部会が事業を計画し、運営しています。

「総務・広報部会」は、地区イベントの計画・協力や、多目的交流館の運営に携わり、住民相互の交流を深める活動をしています。

「安全・防災・防犯部会」は、地区消防団の指導による地区防災フェスタで消火器訓練やバケツリレー・炊き出し訓練等を実施するとともに、防災研修会を実施して防災意識の高揚を図ったり、通学児童の見守り活動を行っています。



平成26年防災フェスタ  
(古式ポンプ操法の実演)

「健康・福祉部会」は、運動会やグラウンドゴルフ大会、食育推進の料理教室を開催し、食や運動による、

健康づくりに関する活動をしています。「生涯学習・人権部会」は、人権研修会や講演会を開催したり、夏の集い・冬の集いの世代間交流で子供達とふれあい、育成に努め、地域に対する関心や愛着を深める活動をしています。

「環境・美化部会」は、花いっぱい運動(地区内六か所のバス停のプランターづくり)、毎年三月の地区一斉清掃の他、豊実地区には、鳥取方式により芝生化した地区民自慢の全面芝生のグラウンドがあり、芝生の維持・管理を行っています。地区内ボラティアによる芝刈り作業、肥料散布、冬芝種の散布や夏期の各集落による輪番の散水作業により、一年中緑が絶えることはありません。地区運動会・地区まつりイベント・グラウンドゴルフ・防災訓練・夏休み子供キャンプ大会など、すべてこの芝生の上で、ケガの心配もなく、楽しくにぎやかに地区の交流を深めています。

豊実まちづくり協議会は、発足時以来継続してきた自治会・公民館との連携、協力を図りながら笑顔あふれる「緑ゆたか」で魅力ある住みよいまち「豊実」を目指し、取り組んでいます。



平成27年豊実地区大運動会

鳥取県自治会連合会の動き

平成二十六年 度

◇中四国自治会連絡協議会

二月五日、山口県下関市において開催され、各県連の代表が参加し、鳥取県自治会連合会からは十名が参加した。

各連合会から提出された議題について活発な意見交換が行われた。

◇鳥取力創造まつり二〇一五

(二月二十八日、倉吉未来中心セミナールーム)  
鳥取県主催、鳥取県自治会連合会後援。県内自治会関係者約五百二十名参加。

平成二十七年 度

◇平成二十六年 度監査会

(四月十五日、米子市)

◇第一回正副会長会

(四月二十八日、倉吉市役所)

◇平成二十七年 度総会及び研修会

(五月二十八日、倉吉交流プラザ第一研修室)

◎総 会

・平成二十六年 度事業報告及び収支決算報告、監査報告

・平成二十七年 度事業計画(案)及び収支予算(案)  
役員選出

- |     |         |       |
|-----|---------|-------|
| 会 長 | 笠見 猛    | (倉吉市) |
| 副会長 | 渡邊 勘治郎  | (鳥取市) |
| 副会長 | 松本 眞    | (米子市) |
| 理 事 | 福井 章人   | (倉吉市) |
| 理 事 | 齋木 英宏   | (倉吉市) |
| 理 事 | 廣谷 啓一   | (倉吉市) |
| 理 事 | 南 部 敏   | (鳥取市) |
| 理 事 | 村 山 洋一  | (鳥取市) |
| 理 事 | 竹 森 貞美  | (鳥取市) |
| 理 事 | 村 上 誘子  | (鳥取市) |
| 理 事 | 大 西 隆秀  | (鳥取市) |
| 理 事 | 杵 築 俊朗  | (米子市) |
| 理 事 | 池 田 弘   | (米子市) |
| 理 事 | 木 村 吉春  | (米子市) |
| 理 事 | 妹 尾 多紀一 | (米子市) |
| 監 事 | 美 田 俊一  | (倉吉市) |
| 監 事 | 前 坂 英雄  | (倉吉市) |
- 以上、原案通り承認されました。

◎研修会

・「鳥取県の地方創生の取り組みについて」～県人口の現状を踏まえて～  
講師 鳥取県地域振興部地域振興課 課 長 酒 嶋 優

記 後 集 編

自治連だよりは、関係各位の御協力のおかげで、第十九号の発行を迎えることとなりました。感謝申し上げます。  
今回は、ページ数を増やし発行されることが決定いたしました。今まで以上に、各地域の特色のある活動や自治連情報を発信できることと思います。これからも皆様の「意見や」感想をお待ちしておりますので、「ご協力お願い致します。」  
(広報委員長 村上)